



(Ref P8)

### (ChatGPT への質問)

インターネットドメインネームの移管に関する ICANN の 60 日ルールと 45 日ルールの違いをドメインネームを移管出来るか出来ないかを含めて整理して下さい。

### (ChatGPT からの回答)

インターネットドメインネームを移管出来るか・出来ないかを軸に、ICANN の 60 日ルールと 45 日ルールを整理します。

前提：対象となるドメイン

ICANN のポリシーは、主に gTLD (.com / .net / .org など) に適用されます。 .jp などの ccTLD は各国レジストリのルールに従います。

#### 1) 60 日ルール (Transfer Lock)

結論は、移管出来ません。(ロックされます)。発生するケースは、以下のいずれかに該当すると、原則 60 日間は他レジストラへ移管不可です。

新規登録から 60 日以内・他レジストラへ移管完了後 60 日以内・登録者 (Registrant) 情報の変更後 60 日以内

※一部レジストラではオプトアウト可能

目的は、不正移管 (ドメインハイジャック) の防止・所有権変更の安全確保です。

まとめとして、ドメインネームの登録直後、他のレジストラへの移管直後、登録者変更直後の 60 日間は移管出来ません。

#### 2) 45 日ルール (Auto-Renew Grace Period 関連)

結論は、移管出来ます (ロックはかかりません)。

内容は、ドメインが自動更新 (Auto-Renew) された後 45 日以内に移管した場合は、自動更新で追加された 1 年分が取り消される・移管時に支払う更新 1 年分のみが有効になります。

重要ポイントとして、45 日ルールは移管制限ではなく、あくまで更新年数の扱いに関する会計ルールです。

まとめとして、ドメインネームの自動更新後 45 日以内でも移管は出来ます。但し、更新 1 年分が消える可能性あり。

項目	60 日ルール	45 日ルール
性質	移管ロック	更新処理ルール
移管の可否	不可	可
影響	一切移管出来ない	年数調整が起きる
主な目的	セキュリティ	レジストリ費用精算処理

実務的に重要なポイント

移管出来ないのは 60 日ルール

移管は出来るが費用に影響するのが 45 日ルール